
バックキャストで描く ベイエリアの戦略

Bay Area Strategy Drawn
in Backcast

サステナブル・リカバリーの視点に立ち 将来像を実現するための戦略

戦略

1

質の高い緑と魅力的な 水辺空間の形成

自然を感じられ、
ゆとりと潤いのある都市へと進化する

この戦略が関係する主なSDGs



この戦略に關係するゼロエミッション東京戦略の推進に資する取組



本章では、誰もが夢と希望を持ち、豊かな生活を実感できる都市であり続けるために明るいベイエリアの将来像の一端を示します。
良質な住環境や既存施設にも配慮しつつ、東京の次なるステージの都市づくりをリードしていきます。

戦略

2

リスクにスマートに対応する 防災・減災対策の推進

いかなる災害からも
都民を守る

この戦略が関係する主なSDGs



この戦略に關係するゼロエミッション東京戦略の推進に資する取組



戦略

3

ひとと地球のためのデジタルと 先端技術をまちの隅々まで実装

都民の生活の質が高まり、
都市の脱炭素化が実現する

この戦略が関係する主なSDGs



この戦略に關係するゼロエミッション東京戦略の推進に資する取組



戦略 4

にぎわい・交流・イノベーションを 生む世界から選ばれるまちの実現

多様な魅力に磨きをかけ
世界を魅了する

この戦略が関係する主なSDGs



戦略 5

まちの魅力や活動の基盤となる 快適で多様な移動手段の充実

人やモノの自由な移動を支える
交通ネットワークを構築する

この戦略が関係する主なSDGs



この戦略に關係するゼロエミッション東京戦略の推進に資する取組



Barangaroo(シドニー):レンドリース株式会社提供
魅力ある水辺の空間整備



Hunters Point South Park (ニューヨーク)
グリーンインフラの護岸整備



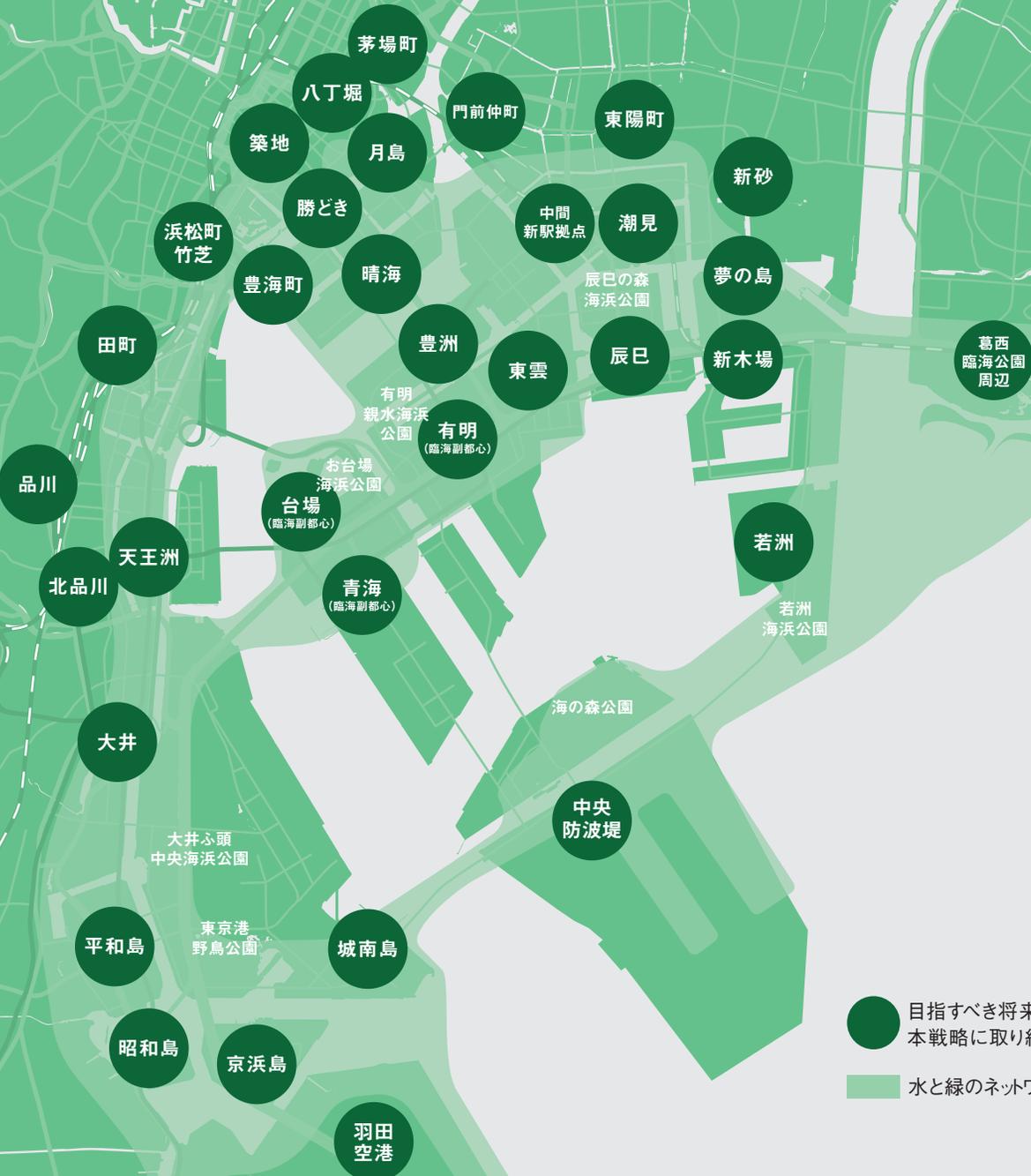
海上の研究施設イメージ



舟運の活性化(出典:官民連携チーム提案書)

戦略

1



● 目指すべき将来像の実現に向け本戦略に取り組む主な拠点

■ 水と緑のネットワーク

質の高い緑と魅力的な水辺空間の形成



[水辺と緑を生かしたひとを惹きつける魅力ある空間をつくる] 🏆🏆🏆



Barangaroo(シドニー):レンドリース株式会社提供

主要施策 水辺沿いの道路空間等は、人が回遊しやすい歩行者中心の空間へ再編。シンボルプロムナード公園は、にぎわいとゆとりのある空間を創出。官民が連携し、道路、公園、オープンスペースと海に開かれた建物が一体的に活用され、レストランやオープンカフェなどと合わせて、様々な過ごし方やライフスタイルを提案する魅力ある水辺空間の創出(臨海副都心など) **A**



都市再生・沿道まちづくり等と連携し、高速道路等の既存インフラの上部空間を活用するなど、KK線の再生によって創出されるみどりのネットワークと連続した空間形成により、都心とベイエリアを結ぶ歩行者中心のみどりのネットワークを創出 **B**



虎ノ門・麻布台プロジェクト
© DBOX for Mori Building Co.



主要施策 開発と合わせた屋上や壁面、中間階、バルコニー緑化により、自然との共生を図り、省エネルギー効果のある立体的なみどり空間の充実 **A**

都市再生特別地区、都市開発諸制度の活用などによる生物多様性にも配慮した緑やオープンスペースの創出 **A** 🌿🏡

都市計画公園などの拡充をはじめ、緑地、運河などを活用した水と緑のネットワークの形成 **A**

主要施策 東京ベイeSGまちづくり戦略における主要施策 🏆 ことば: 小中高生へのWEBアンケートにおいて関心の高かったベイエリアへの希望や大切にしたいこと(メダル数は関心の高さを表現)

A 区分A: 2030年までの実現を目指す取組(取組の特性により一部未着手・制度構築等を含む。) **B** 区分B: 2040年までの実現を目指す取組(取組の特性により一部未着手・制度構築等を含む。)

C 区分C: 中長期的な将来の実現を目指す取組 ※なお、区分A~Cは、事業進捗や状況変化により変更の可能性あり。

T TOKYO FORWARD 東京2020大会の成果を未来につなぐ取組 🌿🏡🚗🚲🚶🏃🏆 ゼロエミッション東京戦略の推進に資する取組

1 質の高い緑と魅力的な水辺空間の形成

[東京2020大会のレガシーを発展させ、水と緑に親しみ憩いと安らぎが感じられるまちを形成] 🌞🌞🌞

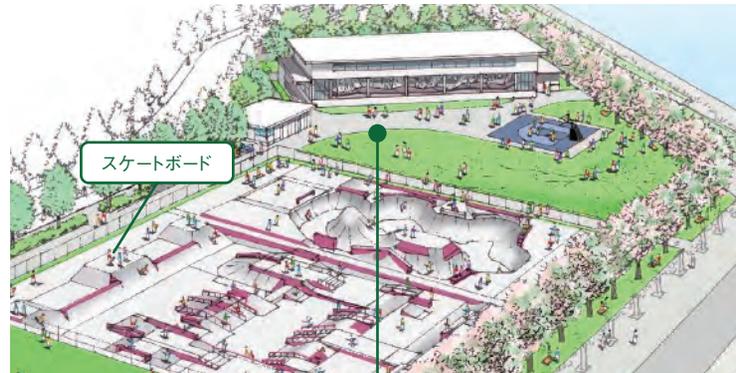


東京2020大会の競技会場周辺で散策ルートや水辺の親水空間が整備された都市環境が形成 **A** **T**



(海の森公園:令和6年度末工事完了予定)

海の森水上競技場及び海の森公園は、自動運転のモビリティや舟運などによるアクセス向上が図られ、ベイエリアの海と緑と都市を一望する壮大な景観が眺められる新たなにぎわいの拠点として一体的に活用 **A** **T**



有明アーバンスポーツパーク(仮称)大会レガシーゾーンのイメージ

大会時の仮設競技施設を活用した大会レガシーゾーンなど、都市型スポーツの場である有明アーバンスポーツパーク(仮称)を含め、大会の感動・記憶を形に残し、広くスポーツに親しむ大会開催を記念する公園の整備 **A** **T**

[まちに潤いを与える水辺空間を形成する] 🌞🌞🌞

葛西臨海公園駅の周辺では、ラムサール条約湿地の登録地として、野鳥や水生生物等の貴重な生息地である干潟が保全。また、今後整備される新たな水族園や利活用が想定される既存施設、海水浴体験ができるなぎさなどの多様な施設が充実(新水族園:令和10年3月供用開始予定) 🌿🌊



生物多様性が豊かで身近に触られる干潟の重要性や魅力の発信、環境学習などの多様な活動の場の提供の推進(竹芝の干潟や葛西海浜公園ビクターセンター(仮称)など) 🌿🌊



令和元(2019)年度お台場ブラージュ(海水浴):港区提供

グリーンTechによる水質改善の取組等を後押しし「泳げる東京湾」の実現に向けた取組を推進 🌿

外濠浄化の推進は、下流の日本橋川、隅田川、さらにはベイエリアの水質改善にも一定の効果を見込んでおり、水質改善に向けた他の取組ともあいまってまちに潤いを与える水辺空間を形成 🌿

合流式下水道の改善により、雨天時に合流式下水道から放流される汚濁負荷量を削減するため、降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の整備等を推進 🌿🌊

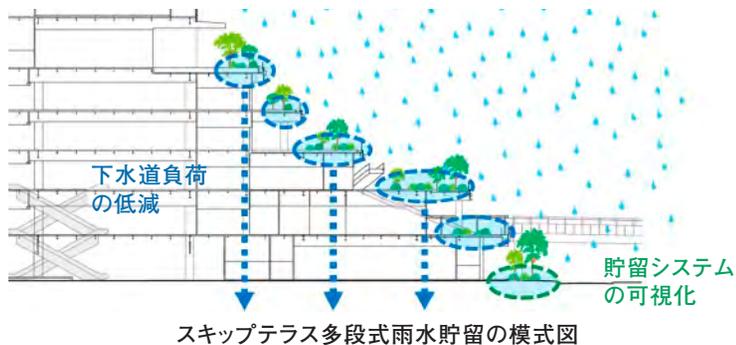
既存の海上公園等に隣接する開発計画において、緑やオープンスペース等の連続性の拡充などを誘導 🌿

1 質の高い緑と魅力的な水辺空間の形成

[水の恵みを楽しむことができる良好な水循環を実現する]

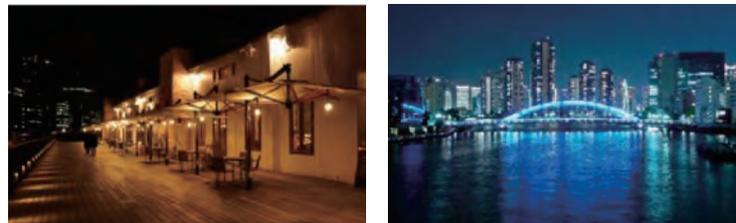


東京ポートシティ竹芝レインガーデン



地区の環境性能等の向上に貢献するグリーンインフラや、その考え方を導入したエリア開発の誘導により、東京全体の良好な水循環の実現に資するよう、開発計画に合わせた雨水の貯留、活用や公園などの浸透域の維持・拡大などを促進し、都市が有する水資源の都市活動への活用や都市の潤いに貢献 [A](#)

[東京の新たな魅力となる美しいまちを創る]



文化・交流分野における都市力の向上にも資するナイトライフの充実や観光資源ともなる魅力的な夜間景観の演出に資するライトアップを促進 [A](#)



芝浦一丁目プロジェクト

海はベイエリアの強み・観光資源との観点から、ひとを迎える空間としても海を生かし、水上バスなど、海からの眺望にも配慮し、海側に開かれた建物や緑も誘導しながら、海から東京に入ってくる最初の景色を提供するベイエリアにしかない東京の新たな魅力となる景観を創出 [A](#)



海の森公園において音楽フェスや自然観察など立地や環境を生かしたイベントなどにより、自然に親しむ新たなにぎわいを創出 **A**



海をより身近に感じられる景観づくりのほか、例えば緑や花にあふれたメモリアルな空間や、まちの歴史と将来像を展示する施設など、バイエリアに生涯愛着を持ち、ローカルなつながりを実感できる環境づくりを促進 **C**



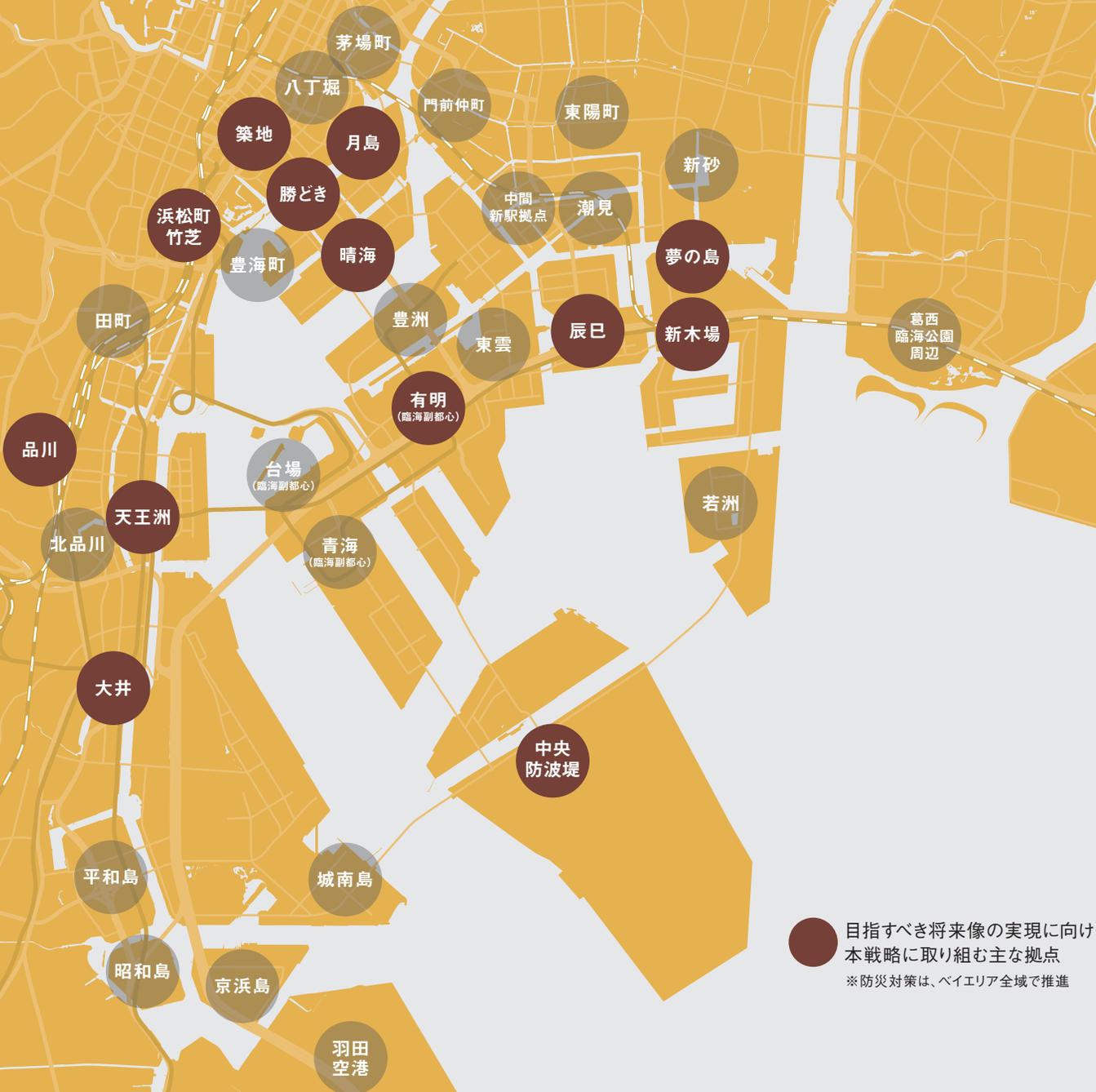
旧晴海鉄道橋の遊歩道への利用転換など、土木遺構の維持保全・活用により、まちと歴史が調和した良好な景観の創出を推進 **A**

歩行者デッキ等により幹線道路等によるエリア分断を解消し、回遊性の高いウォークアブルなまちづくりを促進 **A**

海上公園や街路樹などにおいて、在来種の積極的な導入や外来種の除去など、生物多様性保全に配慮した取組を推進 **A** 

戦略

2



● 目指すべき将来像の実現に向け
本戦略に取り組む主な拠点
※防災対策は、ベイエリア全域で推進

2 リスクにスマートに対応する 防災・減災対策の推進

[減災効果が期待されるグリーンインフラや緩傾斜防潮堤の導入を推進する]



高潮時には湿地帯となるHunters Point South Park(ニューヨーク)

主要施策 都市開発に合わせ、老朽化した直立護岸から減災機能を発揮するグリーンインフラの水辺への再生を誘導 (A) 

海岸保全施設の防潮堤の改修に当たっては、水辺に親しめ生物の生息にも適した緩傾斜防潮堤などの整備を一層推進(京浜運河など) (A) 

[DXなどを活用した都市強靱化の取組を進める]



ドローンの機動性や拡張性を生かし、災害現場等の様々な場面における更なる活用を進め、防災力を向上 (A) 

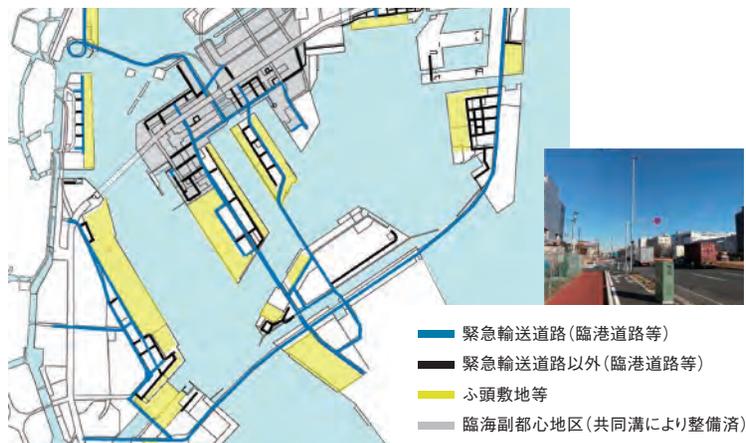
効果的な施策をデジタルの力で後押ししながら、気候変動に対応し、台風・豪雨や地震に備えたハード・ソフトによる都市強靱化の取組を推進 (A) 



主要施策 空間のリダンダンシーとして、被災地支援の巨大拠点の役割も担い、東京全体の迅速な復旧・復興に貢献できる機能の確保 (C) 

[切迫する巨大地震等に対して万全の備えを進める] 🚨🚨🚨

東京港における無電柱化対象



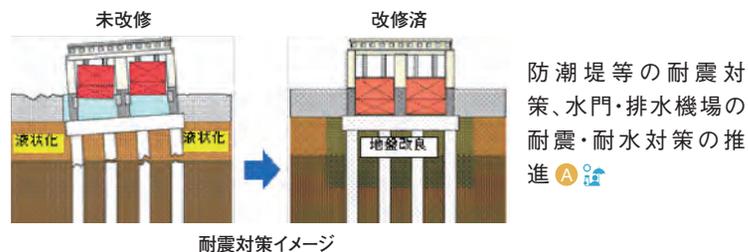
地震や風水害等の災害から電柱倒壊を防ぎ、災害時の円滑な対応に繋げるため、臨港道路や都道等において、無電柱化を推進
東京港エリアにおいては、緊急輸送道路に加えて、ふ頭敷地等を含め、全エリアを対象として整備 🏠🚧🚦

都市再生特別地区や都市開発諸制度を活用したまちづくりなどにより、無電柱化の面的展開 🏠🚧🚦

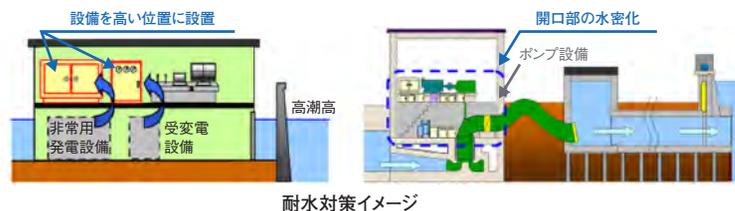
拠点形成に併せ、自律分散型の発電施設やコジェネレーションシステムの導入促進によるエネルギーの安定的供給と事業継続性の確保 🏠🚧🚦



隅田川において、地震に対する安全性と河川環境の向上を図るため、沿川のまちづくりなどと一体的にスーパー堤防の整備を推進 🏠🚧🚦

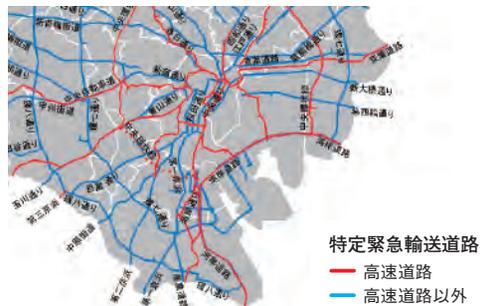


防潮堤等の耐震対策、水門・排水機場の耐震・耐水対策の推進 🏠🚧🚦



耐水対策イメージ

2 リスクにスマートに対応する 防災・減災対策の推進



緊急輸送道路などの沿道建築物の耐震化を推進し、大地震の発生時に救急救命活動の生命線となり、緊急支援物資の輸送、復旧及び復興の大動脈となる道路の機能を確保(第一京浜など) **A**



六本木ヒルズ備蓄倉庫



都市開発諸制度や都市再生特別地区、市街地開発事業などを活用する開発等において、備蓄倉庫や非常用発電機設備、一時滞在施設の整備を促進するとともに、帰宅困難者の安全を確保 **A**



出典:「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」概要版

木造住宅密集地域整備事業などにより、主要生活道路や公園・広場などのオープンスペースを整備するとともに、建築物の建替えによる共同化・不燃化を促進し、防災性の向上と住環境の改善を促進(大田区羽田二・三・六丁目地区) **A**

道路や一時滞在施設の混雑状況等をGPS情報等により把握し、帰宅困難者に対してリアルタイムに情報を発信(2022年度から順次実装) **A**



明石町防災船着場

防災船着場の日常利用により、災害時におけるスムーズな緊急輸送等の活動の確保と水辺の魅力向上を推進 **A**



有明の丘基幹的広域防災拠点は、首都直下地震等の大規模災害時の首都圏広域防災のヘッドクォーターとしての機能を発揮するとともに、平常時における関係機関による防災に関する各種訓練を実施 **A**



軽傷者・医療物資輸送

災害時における水上輸送の拠点となる防災船着場の整備・運用 **A**

戦略

3



3 ひとと地球のためのデジタルと 先端技術をまちの隅々まで実装

[2030年カーボンハーフ・2050年ゼロエミッション東京の実現に向け、都市のゼロエミッション化を進める] 🧑🧑🧑



荷役機械への燃料電池導入 トレーラー等への燃料電池導入 水素ステーション 施設の上層部を利用した太陽光発電 船舶への次世代エネルギー供給体制の整備

出典：「カーボンニュートラルポート(CNP)の形成について」(R3.6)国土交通省

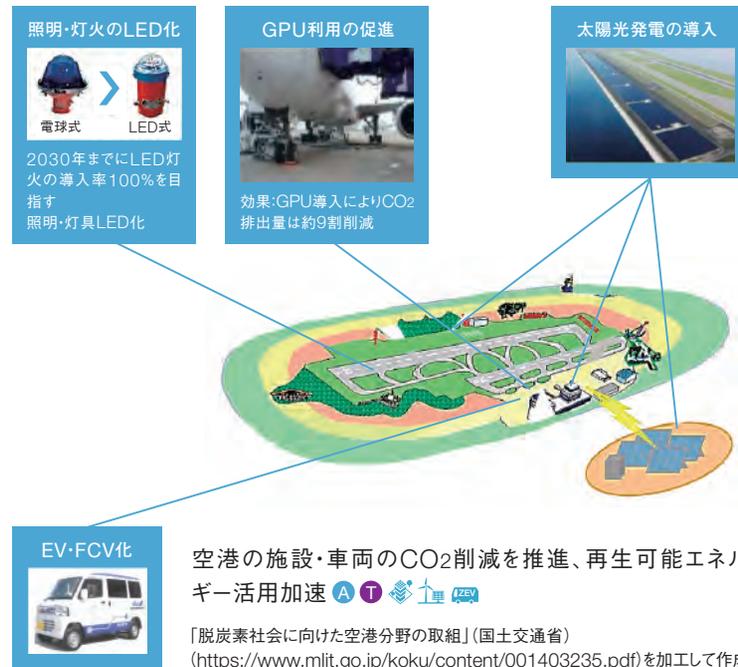
港湾・物流エリアにおいて、太陽光発電や荷役機械・トレーラー等への燃料電池の導入、デジタル技術による荷役の効率化を通じた環境負荷の低減などによるカーボンニュートラルの取組を推進 



主要施策 藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素、いわゆる「ブルーカーボン」に着目し、干潟や藻場等を保全・再生 

出典：水産庁HP

空港におけるカーボンニュートラル化のイメージ

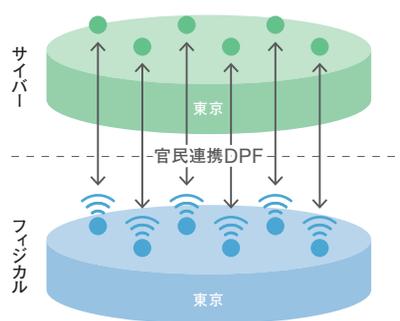


施設更新の機会を捉えて廃棄物処理の高度化を図り、設備・機器の省エネルギー化の促進や技術革新の動向を捉えた活用などにより、資源循環分野においても脱炭素との両立を追求し、ゼロエミッションに貢献する施策を展開  

[ひとと地球のための最先端のデジタルテクノロジーを実装する] 🧑🏫🧑🏫



広大な埋立地で最先端テクノロジーを実装するエリアとして開放、ショーケース化し、空飛ぶクルマ、燃料電池船、マイクロモビリティなど、次世代モビリティを実装 **A**



バイエリアの3D地形データを整備することにより、防災、まちづくり、モビリティなどの分野でデジタルツインのサービスを実装し、デジタルの力によるQOL向上を実現 **A**

臨海副都心における「Digital Innovation City」の実現に向け、「デジタルテクノロジーの実装」及び「スタートアップの集積」を推進し、臨海副都心から新たなイノベーションを創出 **A**



XRイベント

5Gを活用した自動運転サービスや、XRイベントなど新たなライブ・エンタメを展開し、次世代技術の実装を図り、東京が目指す未来のまちをショーケース化 **A**

会場・青海地区を中心とした5Gネットワークやデータプラットフォームを整備 **A**



先端技術開発を担うスタートアップやeスポーツ関連の企業等の進出を支援 **A**

3 ひとと地球のためのデジタルと 先端技術をまちの隅々まで実装

[ひとと地球のための最先端のデジタルテクノロジーを実装する] 🧑🧑



主要施策 サステナブルな海との共生の観点から、海洋資源の開発などの海を使った技術の研究開発や、水害にも強い海上都市など、東京ベイエリアを世界に発信する最先端の「海洋×Tech」を検討 **C**



ZEV^{*}の導入促進と充電設備等の環境整備 **A T ZEV**

※ZEV(ゼロエミッション・ビークル)とは、走行時^{*}に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車(EV)や燃料電池自動車(FCV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)を指します。

※PHVはEVモードによる走行時

駐車場附置に係る「地域ルール制度」の地域貢献策の取組事例に充電器設置を例示し設置を誘導 **A T ZEV**

コミュニティ交通や路線バスのオープンデータ化、データ蓄積を促進し、様々なモードや交通以外のサービスとの連携など、サービスの質向上につながるデータのユースケースともなる取組の実施について検討 **A**



将来像イメージ(「東京における地域公共交通の基本方針」より)

新たなモビリティも含む多様な交通モードとMaaS等の交通サービスを組み合わせ、利用者目線のスムーズな移動を実現 **A** **IZEV**

※MaaSとは、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。



都市OS等を介して、まちのリアルタイムデータ等を活用した観光・モビリティ・イート・ヘルスケア・防災など複数領域横断型サービスを実装 **A**

eSGプロジェクトを推進し、グリーンテクノロジーの活用により、エネルギーを再生可能エネルギーと水素を柱とした100%クリーンエネルギーで賄うまちづくりを推進 **B** **100%**

プラスチック資源循環法の施行を踏まえ、従来の容器包装に加え、製品プラスチックのリサイクルへの取組を拡充することで、プラスチック資源の循環を促進し、ゼロエミッション東京の実現に貢献 **A** **100%**



木質廃棄物



破碎・異物除去・成型



パーティクルボード

提供: 東京ポート工業株式会社

木の伝統文化と先端技術が融合し、新たな価値が創出(新木場) **A** **T** **100%**

戦略

4



- 目指すべき将来像の実現に向け本戦略に取り組む主な拠点
- 本戦略の取組が行われる可能性が高い拠点

にぎわい・交流・イノベーションを生む世界から選ばれるまちの実現



[際立った地域の個性を更に磨き上げる] 🧑🧑

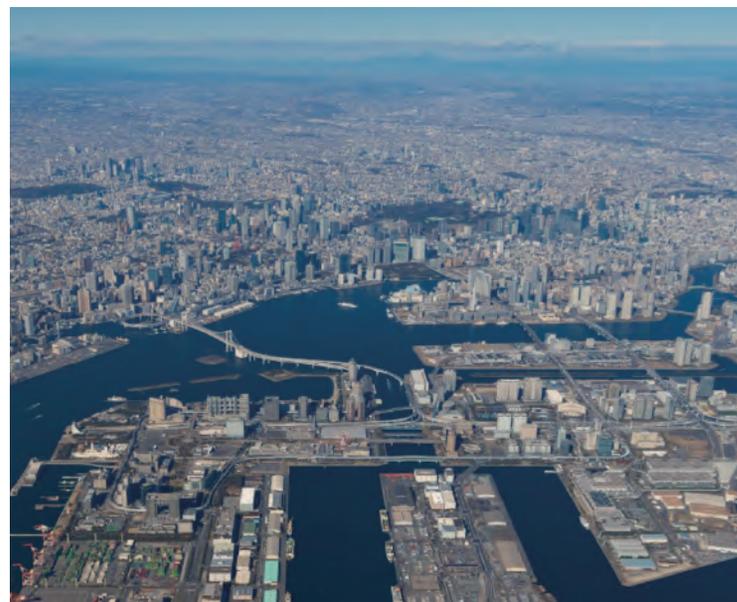


世界の人々を迎え入れ、新たな文化を創造・発信できる機能を導入(築地地区) **A** **B**



大学を核とした新たなオープンイノベーションの創出など、インキュベーション施設の整備促進(田町地区) **A**

東京工業大学田町キャンパス
土地活用事業
(NTTUD・鹿島・JR東日本・
東急不動産グループより提供)



ニーズに応じた柔軟かつ複合的な民間開発を誘導(臨海副都心、豊洲、晴海) **A**

都市の国際競争力の更なる強化に向け、高い経済波及効果をもたらし、ビジネス・イノベーションの機会創出や文化の発信などにつながるMICE機能を充実 **A**

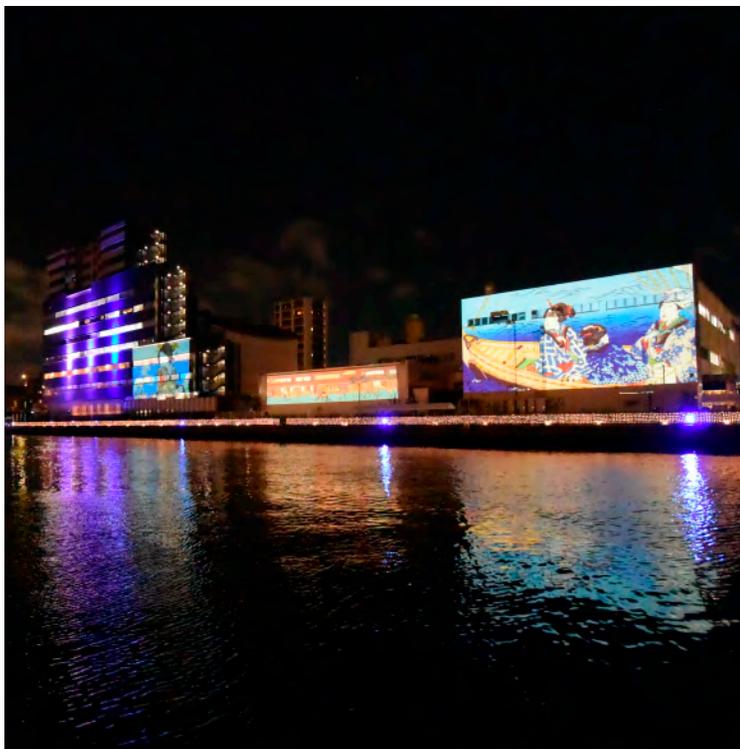
主要施策 東京ベイSGまちづくり戦略における主要施策 🧑🧑 **こども**: 小中高生へのWEBアンケートにおいて関心の高かったベイエリアへの希望や大切にしたいこと(メダル数は関心の高さを表現)

A 区分A: 2030年までの実現を目指す取組(取組の特性により一部未着手・制度構築等を含む。) **B** 区分B: 2040年までの実現を目指す取組(取組の特性により一部未着手・制度構築等を含む。)

C 区分C: 中長期的な将来の実現を目指す取組 ※なお、区分A~Cは、事業進捗や状況変化により変更の可能性あり。

T TOKYO FORWARD 東京2020大会の成果を未来につなぐ取組 ゼロエミッション東京戦略の推進に資する取組

4 にぎわい・交流・イノベーションを生む 世界から選ばれるまちの実現



屋外広告物を活用したエアーマネジメントやプロジェクションマッピングの実施。
また、活発なエアーマネジメントにより、屋内外の私有空間と道路・公園等の公
共空間との一体的なにぎわいを形成 **A**



空き倉庫をカフェへコンバージョンした事例

テレワーク普及に対応し、共用スペースを備えたシェアオフィスやサテライトオ
フィス等の整備 **A**



交通利便性や静穏な内水面、長い水際線を生かし、働く人、訪れる人の活動
の質を高める複合的な都市機能を導入 **A**



アリーナのイメージ

臨海地下鉄の沿線地域では、未処分地、低未利用地の活用により高度利用を図りながら、スポーツ、エンターテインメント、エキシビション、ホテル等の機能を導入 **A**

にぎわい・交流について、ポストコロナも見据え、適切な環境を整備するとともに、移動手段をはじめ、民間開発による水準の高いホテルやレストランなど、動きをトータルで考えた施設整備を誘導し、都市として選ばれる理由を拡充 **A**

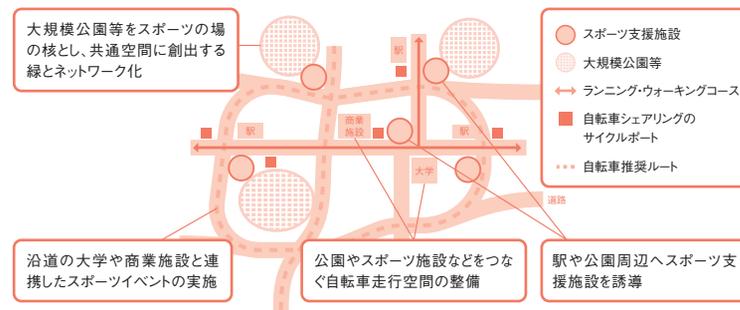
[面的に広がりあるレガシーを形成]



主要施策 東京2020大会の競技施設周辺では周辺民間開発による商業施設、ホテル、ホールなどの豊富な機能集積との相乗効果などにより、面的に広がりのあるレガシーを形成(有明地区など) **A T**

面的に広がりあるレガシーのイメージ

スポーツを身近に楽しめるまちづくりのイメージ



身近な場でスポーツができる環境を整備し、身近な地域でスポーツを通じたウェルネスを実現 **A T**

大規模団地の建替えにあわせ、公共公益施設の再配置や交流機能の導入が促進するとともに、鉄道駅と東京2020大会の競技施設周辺をつなぐ散策路等の整備を通じた連続性を確保(辰巳地区) **A T**

4 にぎわい・交流・イノベーションを生む 世界から選ばれるまちの実現

[快適な都市活動を支え、新たな魅力やにぎわいを創出する] 🧑🧑



夜のにぎわいや活気を演出する地区では、土地利用の特性に応じた照明により、都市全体の夜間景観にメリハリを付ける **A**

土地利用の転換などにより、新たな価値の創出に資する新産業の施設の立地を促進し、多様なイノベーションを創出(新木場) **A**

既存施設や良質な住環境に配慮するとともに、国際化等の多様なライフスタイルに対応した住宅や生活支援機能の誘導(品川、浜松町など) **A**



※写真は、森ビル株式会社とアート集団・チームラボが共同で企画・運営する「森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス」です。

商業・文化機能の集積も充実させながら、デジタルアート等最先端の技術も活用し、過去、現在、未来が融合した多様な都市空間を拡充 **A T**

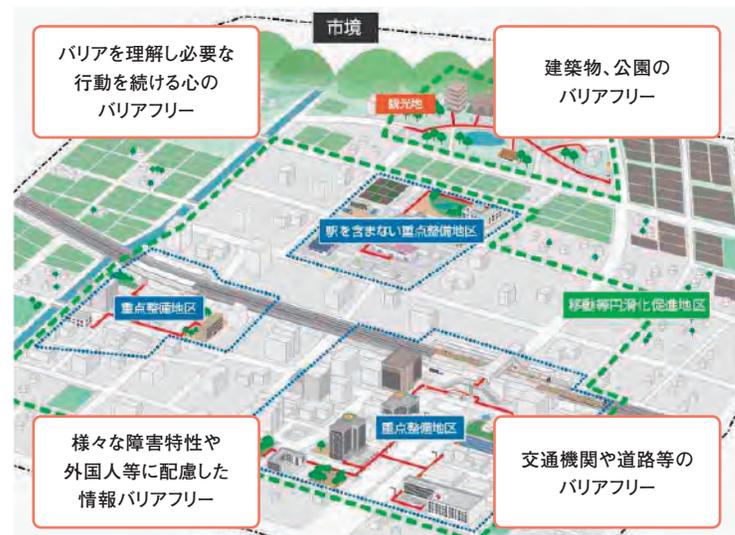
研究・学術・ものづくりや文化・芸術など新たな視点を重ね合わせた複合的な用途の配置や住宅地におけるにぎわいや交流の創出、サテライトオフィスなど新たな働き方を支える複合的な用途の配置等を誘導 **A**

世界を魅了する質の高い建築デザインなどの誘導により、恵まれたみどりや海や運河の水面を生かしたベイエリアにしかない、新たな魅力となる東京ならではの景観を創出 **A T**



品川駅北周辺地区

主要施策 民間提案や活力を生かせる仕組みを導入し、公共空間も含めたトータルなコンセプトやデザインによるベイエリアならではのエリア開発の促進 **A**



バリアを理解し必要な行動を続ける心のバリアフリー

建築物、公園のバリアフリー

様々な障害特性や外国人等に配慮した情報バリアフリー

交通機関や道路等のバリアフリー

出典:「移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン」(国土交通省)

障害者、高齢者、外国人など誰もが安心・快適に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくりを展開し、ソフト・ハード両面で質の高いバリアフリー環境を整備 **A T**

まちの魅力や活動の基盤となる 快適で多様な移動手段の充実



主要施策 [鉄道ネットワークの充実強化] 🏆🏆🏆

① 羽田空港アクセス線の新設

機能拡充を図る羽田空港と国際競争力強化の拠点である区部中心部や新宿、臨海部等とのアクセス利便性の向上が期待される羽田空港アクセス線について関係者との協議・調整を加速(田町(東山手)ルート2029年度運行開始予定) **A** **B**

② 東京8号線の延伸(有楽町線)

臨海部と区部東部の観光拠点とのアクセス利便性の向上や東西線の混雑緩和が期待される東京8号線の早期事業化に向けた取組を加速(開業目標2030年代半ば) **B**

③ 都心部・品川地下鉄の新設

リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅及び同駅周辺地区と六本木等の都心部とのアクセス利便性の向上が期待される品川地下鉄の早期事業化に向けた取組を加速(開業目標 2030年代半ば) **B**

④ 都心部・臨海地域地下鉄の新設

区部中心部と開発が進む臨海地域とをつなぐ基幹的な交通基盤、言わば背骨としての役割

大いなるポテンシャルを有するベイエリアの鉄道網を充実させ、東京を持続可能な都市にし、日本の成長を確かなものとしていく上で重要な路線として、臨海地下鉄の事業計画の検討を進め、路線の具体化を更に加速 **B**

⑤ 新空港線の新設(蒲蒲線)

東急東横線、東京メトロ副都心線などとの相互直通運転を通じて、国際競争力強化の拠点である新宿、渋谷、池袋等や東京都北西部と羽田空港とのアクセス利便性の向上が期待される新空港線の事業化に向けた関係者の取組を更に加速 **B**

主要施策 東京ベイeSGまちづくり戦略における主要施策 🏆 こども：小中高生へのWEBアンケートにおいて関心の高かったベイエリアへの希望や大切にしたいこと(メダル数は関心の高さを表現)

A 区分A：2030年までの実現を目指す取組(取組の特性により一部未着手・制度構築等を含む。) **B** 区分B：2040年までの実現を目指す取組(取組の特性により一部未着手・制度構築等を含む。)

C 区分C：中長期的な将来の実現を目指す取組 ※なお、区分A～Cは、事業進捗や状況変化により変更の可能性あり。

T TOKYO FORWARD 東京2020大会の成果を未来につなぐ取組 ゼロエミッション東京戦略の推進に資する取組

5 まちの魅力や活動の基盤となる 快適で多様な移動手段の充実

[道路ネットワークの充実強化] 🧑🧑🧑

6 首都高速晴海線延伸

都心と臨海部の連携強化とともに、臨海部などの交通分散や利便性向上に寄与する首都高速晴海線延伸の早期事業化に向けた取組を促進 **A**

外環(東名高速～湾岸道路)

「東京外かく環状道路(東名高速～湾岸道路間)計画検討協議会」における議論も踏まえ、羽田空港へのアクセス性を確保しつつ、東名高速～湾岸道路間の計画の早期具体化を促進 **B**

7 第二東京湾岸道路 **主要施策**

三環状道路などと一体的な道路ネットワークを形成し、都県間の広域的な交流連携を促すとともに、湾岸エリアの交通混雑を緩和する路線。中央防波堤地区の土地利用が進むとともに、湾岸道路(国道357号)から内陸側については、生活関連物資等の流通を支える港湾の区域等を除き、都市的な拠点開発を促進 **C**

国道357号

東京湾岸の広域的なネットワーク形成のみならず、国際化が進む羽田空港へのアクセス向上や東京港の更なる物流円滑化に寄与する多摩川トンネルを整備促進 **A**

今後も進められていく東京湾岸エリアの開発に伴う交通量の増加に対応する辰巳交差点、東雲交差点、有明二丁目交差点の立体化する事業を促進 **A**

8 環状第3号線

ベイエリアと区部中心部を結び交通・物流ネットワークの強化が期待される環状3号線の早期事業化に向けた取組を推進 **B**

9 環状第4号線

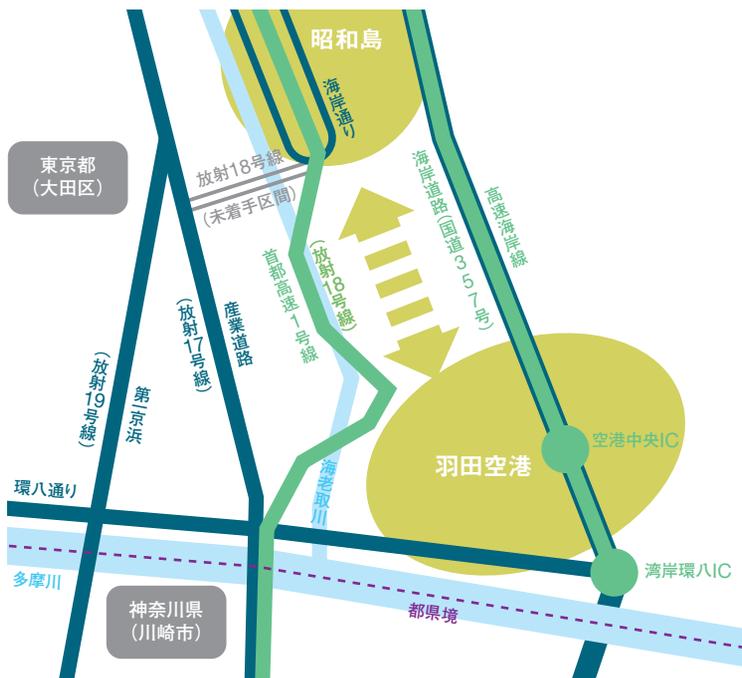
羽田・臨海部・六本木方面とのアクセスを向上させるなど、広域道路ネットワークの形成や開発に伴う交通処理に寄与する環状4号線の整備を推進 **A**

10 補助第144号線

ベイエリアと区部東部をつなぎ、交通・物流ネットワークの強化に寄与する補助144号線の事業化に向けた取組を推進 **B**

11 羽田空港周辺地域における道路網の拡充

羽田空港の更なる機能強化と国際化に向けた取組が進められており、首都圏の活力を高める国際的な拠点空港へのアクセス性向上に向け都市計画道路の在り方について調査を推進 **B**



出典：東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)P54

[舟運の活性化、港湾・空港などの都市基盤の整備、BRT、地区内交通の充実など] **👤👤**

12 舟運 **主要施策**

通勤・観光の利用拡大や公共船着場の開放、バリアフリー化、船客待合所の整備など、舟運の活性化に向けた取組を着実に推進 **A T**

複数の航路で通勤等を目的とした新規航路開拓に向けた取組等を実施し、更なる利用者の拡大や、水の都東京の発信を推進 **A T**



東京国際クルーズターミナルに隣接した新たな船着場を整備することにより、クルーズ客等が都内各地へアクセスする際の発着地として機能させるなど、移動手段を充実 **A T**



13 クルーズ

東京国際クルーズターミナルの2バース体制が実現 **A**

大型クルーザー

世界的に隻数が増加しており、東京2020大会による都市のプレゼンスの高まりなどから、今後、東京港への寄港が期待される大型クルーザーの受入体制を確保 **A**

5 まちの魅力や活動の基盤となる 快適で多様な移動手段の充実

14 羽田空港

ビジネスジェットの受入体制強化など、空港の機能拡充を通じて増大する航空需要への対応を強化 **A**



出典:国土交通省公表資料



出典:日本ビジネス航空協会

15 東京ヘリポート

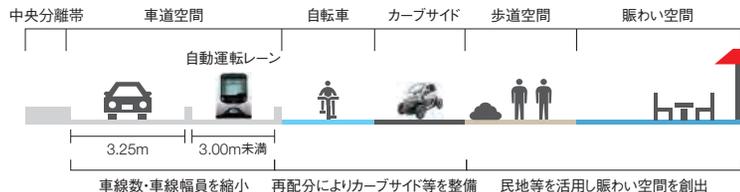
災害発生時の航空輸送基地として指定されている国内最大の公共用ヘリポートであり、今後とも東京都内のみならず国内ヘリコプターの運航拠点としての役割を発揮 **A**

自動運転社会を見据えた都市づくり

自動運転車の普及とともに、路肩側の車道空間であるカーブサイド、自転車通行空間及び歩行者空間の創出を実現 **A B**

カーブサイドでは、地域のニーズや時間帯に応じて荷さばき車両や超小型モビリティ等のシェアリングサービスの乗降スペース、歩行者の滞留空間や賑わい空間等で多目的利用ができる空間として活用 **A B**

[将来イメージ]



16 東京BRT

東京ベイエリアにおける交通需要の増加に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関として、区部中心部とベイエリアとを結ぶ東京BRTの運行を推進 **A T**



地区内交通 **主要施策**

臨海副都心などにおいて、だれもが移動しやすい回遊性向上を図るため、官民の空間連携により、EVバスや舟運、シェアリングサービス、パーソナルモビリティなどのモードを組み合わせ、ベイエリアならではの地区内交通ネットワークを充実 **A** 

駅まち一体開発

複数の民間事業者による共同貢献の積極的な活用や都市開発諸制度等の活用により、地下鉄駅等とまちとが一体となった開発などを誘導し、交通結節機能の強化と「まちの顔」づくりを推進 **A**

物流ネットワークの形成

中央防波堤外側・新海面処分場における大水深岸壁を有した新規コンテナふ頭の整備や、既存ふ頭の再編、AI・IoTなどの最先端技術を活用した物流の効率化により、船舶の大型化や増大する貨物に対応 **A**

内貿ユニットロードターミナル・フェリーターミナルの機能強化や、トラック輸送から内航輸送、湾内や河川を利用したはしけ輸送、鉄道輸送など、環境にやさしい輸送モードへのモーダルシフトを促進 **A**

物流施設の機能更新

老朽化した物流施設が多く立地するエリアで、物流機能の高度化や大規模化などのニーズに対応する計画的・一体的な機能更新に向けた取組を促進 **A**

自転車通行空間の整備

晴海・豊洲・有明等地区を自転車活用推進重点地区（先行実施地区）として指定し、多言語案内や自転車通行空間の確保等、住みやすく、余暇や観光を楽しめるまちの実現を目指し、2021年度に整備計画を策定し、2022年度から集中的に取組実施 **A**

臨港道路等における自転車通行空間や海上公園内のサイクリングルートのネットワーク化を進め、安全で快適な自転車利用環境の整備を推進 **A**



ベイエリアへのアクセス

人や物の自由な移動を支えられるよう、品川と臨海副都心とのアクセス、臨海副都心と中央防波堤とのアクセスを含め、まちの魅力と活動の基盤となる基幹的交通ネットワークの構築を検討 **C**

5つの戦略に横串を通す都市づくりのシナリオ

気候危機への対策を大前提として世界から人と投資を呼び込む

これまで示した各戦略の取組は、総合的に取り組むことで相互に関連して効果を発揮する。

水と緑、危機への備え、デジタル、イノベーション、多様なモビリティ

世界から選ばれる都市につなげる各戦略の要素に横串を通すひとつのシナリオを例示する。

- 東京2020大会の成功によって得た世界からの信頼と注目の高まりを追い風として、多様な集積を源泉に、“サステナブル・リカバリー”の実現に向け、気候変動などへのリスクに対する安全・安心という基盤(戦略2)の上に、水辺と緑を生かした魅力ある都市空間(戦略1)と利便性の高い都市機能(戦略3及び5)を創り、自然と調和して発展し続ける世界から選ばれる都市づくり(戦略4)を進める。
- 所有地の活用をはじめ、民間開発の機会も捉え、先端技術の活用による建築物の木造化(④)、省エネの最大化、再エネの利用拡大など、世界の潮流である「グリーン」と「デジタル」を基軸とした施策により、都市のゼロエミッション化を推進する。
- 水辺の魅力を生かした創造性を促す空間に「海洋×Tech」などの最先端の研究施設(③)やスタートアップ企業の集積を促すとともに、文化、アクティビティがセットとなった世界から人が集まるビジネスや生活の拠点を創造する。
- 自然と親しむ水辺の美しい景観やグリーンインフラの水辺への再生(①)など、親水性の向上が減災機能の確保につながっている。
- にぎわいと魅力ある空間に再編したオープンスペースは、災害時には、避難所や応急仮設住宅・医療施設等の需要にも対応できる「空間のリダンダンシー」としても機能する。
- 民間の力も生かして設置するスマートポール等により、まちの隅々まで行き渡った稠密なセンサーネットワークを形成(⑥)し、都民生活や都市活動のサービス向上と、災害時の迅速かつ正確な避難行動につながるリアルタイムの情報発信(⑤)の基盤となっている。
- 交通・物流機能を強化する道路網及びふ頭エリアの整備では、無電柱化によって災害時の迅速な救命救急・物資輸送機能が確保され、公共交通アクセスを高める地下鉄ネットワークでは浸水対策が進捗し、街の魅力となっている舟運(②)は、活性化に伴って災害時には迅速な帰宅困難者や物資の輸送に繋がっている。

